ワクチン接種を受ける人へのガイド
2025 年 8 月更新

組換え沈降 9 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（酵母由来）

【このワクチンの名前は？】

販売名	シルガード 9 水性懸濁筋注シリンジ SILGARD 9 Aqueous Suspension for Intramuscular Injection Syringes
一般名	組換え沈降 9 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（酵母由来） Recombinant Adsorbed 9-valent Human Papillomavirus Virus-Like Particles Vaccine (Yeast Origin)

ワクチン接種を受ける人へのガイドについて

ワクチンの正しい理解と、重大な副反応の早期発見などに役立てていただくために、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、特に知っていただきたいことをわかりやすく記載しています。添付文書情報は PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に掲載されています。　※副反応：ワクチンの副作用のこと

【このワクチンの効果は？】

・ このワクチンは、次の目的で接種されます。

ヒトパピローマウイルス６、１１、１６、１８、３１、３３、４５、５２及び５８型の感染に起因する以下の疾患の予防

- **子宮頸癌（扁平（へんぺい）上皮癌及び腺癌）及びその前駆病変（子宮頸部上皮内腫瘍（ＣＩＮ）１、２及び３並びに上皮内腺癌（ＡＩＳ））**
- **外陰上皮内腫瘍（ＶＩＮ）１、２及び３並びに腟上皮内腫瘍（ＶａＩＮ）１、２及び３**
- **肛門癌（扁平上皮癌）及びその前駆病変（肛門上皮内腫瘍（ＡＩＮ）１、２及び３）**
- **尖圭（せんけい）コンジローマ**

・ このワクチンの接種によりヒトパピローマウイルス６、１１、１６、１８、３１、３３、４５、５２および５８型に対する抗体ができ、上記の疾

患にかかりにくくなります。

- このワクチンで、ヒトパピローマウイルス６、１１、１６、１８、３１、３３、４５、５２および５８型以外の感染で起こる子宮頸がん、肛門がんまたはそれらの前駆病変などの予防効果は確認されていません。
- 扁平上皮がん以外の肛門がんに対する予防効果は確認されていません。
- すでに感染が成立しているヒトパピローマウイルスの排除や、すでに生じているヒトパピローマウイルス関連の病変の進行の予防効果は期待できません。
- このワクチンの接種は定期的な子宮頸がん検診の代わりにはなりません。このワクチンの接種に加えて、子宮頸がん検診の受診やヒトパピローマウイルスの感染や、性感染症に対する注意は重要です。
- このワクチンの予防効果の持続期間は確立していません。

【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

○ ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。

○ 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。

○ 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
- 明らかに発熱（通常３７．５℃以上）している人
- 重篤な急性疾患にかかっている人
- 過去にこのワクチンに含まれている成分で過敏症のあった人
- 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した人

○ 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。
- 血小板減少症や凝固障害がある人
- 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の疾患や発育の障害などの基礎疾患がある人
- 他のワクチンの接種を受けて、２日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
- 過去にけいれんをおこしたことがある人
- 過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人
- このワクチンに含まれている成分に対してアレルギーをおこすおそれがある人
- 腎臓に障害がある人

・ 肝臓に障害がある人
・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
・ 授乳中の人

○ 併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【このワクチンの接種スケジュールは？】

● 接種量および回数

９歳以上の人は、合計３回（１回０．５ｍＬ）、筋肉内に注射します。

［通常］

２回目	初回接種の２ヵ月後
３回目	初回接種の６ヵ月後

［接種期間の変更が必要な場合］

２回目	初回接種の１ヵ月以上後
３回目	２回目接種の３ヵ月以上後

１年以内に３回の接種を終了することが望ましいです。

９歳以上１５歳未満の人は、接種を合計２回（１回０．５ｍＬ）とすることも可能です。

［通常］

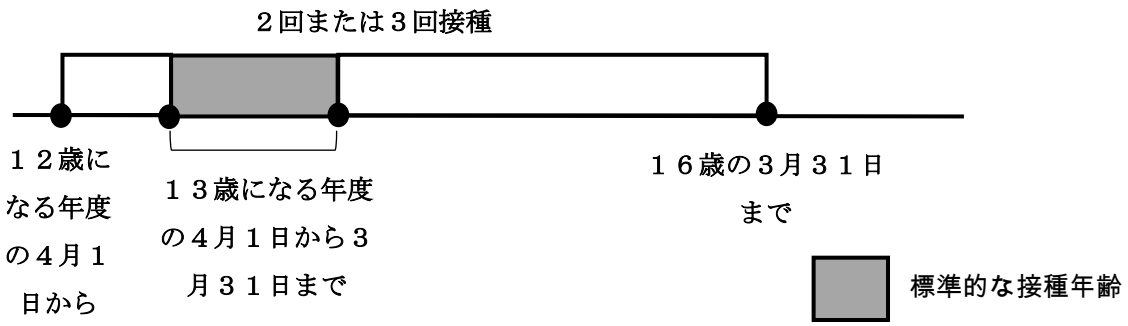
２回目	初回接種の６ヵ月後から１２ヵ月後の間

［接種期間の変更が必要な場合］

２回目	初回接種の少なくとも５ヵ月以上後、１３ヵ月後まで

２回目の接種が初回接種から５ヵ月後未満の場合は、３回目を接種してください。その場合、３回目は２回目接種の３ヵ月以上後に接種してください。

［定期接種[i]］



- 定期接種の対象者は、小学校６年～高校１年相当の女の子です。
- １回目の接種を受けるときの年齢により接種回数が異なります。
  - １５歳になるまでに１回目の接種を受ける場合は、合計２回の接種をしてください。
  - １５歳になってから１回目の接種を受ける場合は、合計３回の接種をしてください。
- 個人によって接種スケジュールが異なる場合があります。
- このスケジュール中に、接種を受けられなかった場合は医師に相談してください。

［任意接種[ii]］

- 希望される場合には医師に相談してください。
  ９歳以上の人であれば接種できます。

ⅰ定期接種：予防接種法で定められた予防接種を、定められた年齢で受ける場合
ⅱ任意接種：予防接種法で定められていない予防接種や、定期接種で定められた年齢から外れて受ける場合

○ このワクチンと他のヒトパピローマウイルスワクチンを互いに取りかえて接種したときの情報は得られていないため、２回目以降もこのワクチンの接種を受けてください。

○ 医師が必要と認めた場合には、同時に他のワクチンの接種を受けることができます。

【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】

- 接種当日は激しい運動をさけ、接種部位を清潔に保ってください。
- 接種後は、健康状態によく気をつけてください。接種部位の異常な反応や

体調の変化、高熱、けいれんなどの異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

- 接種直後または接種後に、血管迷走神経反射†として失神があらわれることがあります。失神による転倒を避けるために、次のことを守ってください。
  - 接種後に診察室から待合室などへ移動するときには、看護師や保護者の方に腕をもって付き添ってもらってください。
  - 接種後３０分間程度は、背もたれや肘かけのある安全なイスに座って待っていてください。
  - 待っている間は、急に立ち上がることを避け、座っていてください。

  † 血管迷走神経反射：注射を打ったときの痛み、恐怖、興奮などによる刺激が脳神経のひとつである迷走神経を介して中枢に伝わり、心拍数が減ったり、血圧がさがったりすることがあります。そのため、気分が悪くなったり、めまいやふらつき、失神などが起こったりします。
- 発生機序は不明ですが、ワクチン接種後に、注射部位だけでなく他の部位に激しい痛み（筋肉痛、関節痛、皮膚の痛みなど）やしびれ、脱力などがあらわれ、長期間症状が持続する例が報告されています。このような異常な症状があらわれた場合は、神経学的、免疫学的な診断のできる医療機関を受診するなどの対応が必要になるので、速やかに医師に相談してください。
- 接種後に、アナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しいなど）がおこることがあります。アナフィラキシーは通常接種後３０分以内におこることが多いので、この間接種施設で待機するか、すぐに医師と連絡をとれるようにしておいてください。
- 他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師または薬剤師に伝えてください。
- ワクチンを合計３回または２回接種しますが、気になる症状が現れた場合は、それ以降の接種をやめることが出来ます。

副反応は？

特にご注意いただきたい重大な副反応と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副反応であれば、それぞれの重大な副反応ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師に相談してください。

重大な副反応	主な自覚症状
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
気管支痙れん きかんしけいれん	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
じんま疹 じんましん	かゆみのある虫さされのような発疹
ギラン・バレー症候群 ギラン・バレーしょうこうぐん	両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、階段を昇れない、物がつかみづらい、物が二重に見える、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉がまひする、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しい
血小板減少性紫斑病 けっしょうばんげんしょうせいしはんびょう	鼻血、唾液・痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
急性散在性脳脊髄炎（ＡＤＥＭ） きゅうせいさんざいせいのうせきずいえん（アデム）	頭痛、発熱、嘔吐（おうと）、意識の低下、目が見えない、手足が動きにくい、歩きにくい、感覚が鈍い

以上の自覚症状を、副反応のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副反応ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、出血が止まりにくい、発熱、感覚が鈍い
頭部	頭痛、意識の低下
顔面	顔の筋肉がまひする、鼻血
眼	目が見えない、物が二重に見える
口や喉	喉のかゆみ、食べ物が飲み込みにくい、唾液・痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、嘔吐
胸部	動悸、息苦しい、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ、呼吸が苦しい
手・足	両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、物がつかみづらい、手足の感覚が鈍くなる、手足が動きにくい、歩きにくい
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、かゆみのある虫さされのような発疹
筋肉	階段を昇れない

【このワクチンの形は？】

容器の形状	性状
	振り混ぜるとき、均等に白濁する。

【このワクチンに含まれているのは？】

有効成分	ヒトパピローマウイルス６型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子 ヒトパピローマウイルス１１型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子 ヒトパピローマウイルス１６型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子 ヒトパピローマウイルス１８型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子 ヒトパピローマウイルス３１型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子 ヒトパピローマウイルス３３型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子 ヒトパピローマウイルス４５型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子 ヒトパピローマウイルス５２型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子 ヒトパピローマウイルス５８型Ｌ１たん白質ウイルス様粒子
添加剤	アルミニウムヒドロキシホスフェイト硫酸塩、塩化ナトリウム、Ｌ－ヒスチジン塩酸塩水和物、ポリソルベート８０、ホウ砂

【このワクチンについてのお問い合わせ先は？】

- 症状、使用方法、副反応などのより詳しい質問がある場合は、医師または薬剤師にお尋ねください。
- 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ＭＳＤ株式会社（https://www.msd.co.jp）
ＭＳＤカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル：０１２０－０２４－９６４
受付時間：９：００～１７：３０
（土日祝日・製造販売会社休日を除く）